

令和6年度

事業概要

— 「学び」と「遊び」の活動交流拠点 —

－ 目次 －

児童文化センターの特徴

- | | |
|-------------------|-------|
| 1 施設の特徴 | 1 ページ |
| 2 事業の特徴 | 2 ページ |
| 3 人材の特徴 | |
| 4 様々な機関や組織との連携の推進 | |

施設の概要

- | | |
|---------------|-------|
| I 前橋市児童文化センター | 3 ページ |
| II 前橋こども公園 | |

令和6年度 事業の概要

- | | |
|------------------|-------|
| I 運営目標 | 4 ページ |
| II 本年度の重点施策 | |
| 1 交通・天文・環境教室の充実 | |
| 2 自然体験活動の充実 | |
| 3 科学・文化芸術教育活動の充実 | |
| 4 遊びの充実と多世代交流の推進 | |
| 5 施設管理 | 7 ページ |
| III 開館時間・料金等 | 8 ページ |
| IV 事業体系 | 9 ページ |

児童文化センターの特徴

- こどもにとって、総合的な科学・文化芸術活動、様々な体験ができるところ。遊びながら学べるところ。
- 市民にとって、安心して小さなこどもを連れて遊びにいけるところ。また、ボランティア活動を通して、多様な世代の交流ができるところ。
- 学校・園にとって、交通・天文・環境を学ぶところ。より質の高い学びの体験ができるところ。

1 施設の特徴

○前橋こども公園と一体化した教育施設

屋外の交通学習ゾーン、芝生広場、冒険遊びゾーン、さらに館内すべてのところで、こどもたちの夢を育て可能性を広げる総合的な文化施設となっている。

○交通学習にふさわしい施設

交通学習ゾーンでは、体験的に交通ルールを学べる環境を整えている。

○豊かな発想により使い方が広がる施設

ホール、フリースペース、ワークルームなど、開閉・可動壁で多様な使用ができる施設。

○「学び」も「遊び」も人から人へ

科学等に関する展示は少なく、「学びも遊びも人から人へ」のコンセプトをもち、こどもの活動自体が、こども自身、指導する者、そして活動を目にする者にとって「文化の形」を示している。そのため体験型の企画やマンパワーが活かせる仕組みを随所に持っている。

○建物自体が教材で、仕組みが見える造り（エレベーター、のぞき窓など）

○教育的価値を追求するプラネタリウムがある施設

限りなく本物に近い星空を再現できる光学式とデジタル式を融合させたハイブリッド型プラネタリウム。全国的にも数少ない意図的・計画的な自主番組制作、職員の生解説、学校・園と連携した学習投影など、プラネタリウムから実際の星空に関心が広がる工夫が進められている。

○自然と環境、自然エネルギー等について学べる施設

- ・水力発電・風力発電・太陽光発電装置、太陽光採光システム、屋上緑化・壁面緑化、雨水利用システムなどの設備を直接見て環境について考えることができる。
- ・公園内の様々な種類の樹木、植栽、メダカや多種の水生物のいるビオトープや昔ながらの田んぼの再現など、地域の自然環境を生かした自然や環境に関する学習ができる。

○240台の駐車場完備

- ・混雑時には第二駐車場も開放している。



2 事業の特徴

- 多様な文化活動（科学，文化芸術，交通安全，環境教育，自然体験等）を実施し，こどもたちの科学・文化活動の中核となる事業を行う。
- 体験的な活動を重視して，「学び」と「遊び」を一体化した事業を行う。
- 様々な人（多世代，異年齢，多地域の人など）との交流が図れる事業を行う。
- 学校・園と連携（教育課程にかかわる事業，学校外活動の推進）した事業を行う。
- 社会教育施設として家庭教育，子育て支援も推進する。

3 人材の特徴

- 職員は，教員や教員免許保有者が多く，理科，技術・家庭，音楽などの各教科，司書，幼稚園，養護など多岐にわたり，交通指導，天文指導，環境教育などの実践者がおり，充実した指導を行っている。
- 事務職員は，計画的な施設管理のほか，適正な予算編成や執行，契約事務等に対応している。
- 児童文化センター所有の2台のバスと運転技士により，安全で信頼できるバス運行が可能である。
- サポートスタッフとして，学生がこどもたちの活動を支援している。
- 市内の学校や大学の先生方，有識者を講師として依頼し，職員とともにこどもたちへの指導を行ったり，プラネタリウム番組の制作をしたりしている。
- 一般ボランティア，学生ボランティア，野メダカを育てる会など，多くのボランティアが児童文化センター職員とともにこどもたちのために活動している。

4 様々な機関や組織との連携の推進

○行政内（教育委員会事務局以外）

交通政策課，文化国際課，防災危機管理課，環境政策課，公園緑地課，公園管理事務所，秘書広報課，こども施設課，渋川森林事務所，県森林保全課，県環境政策課，県eスポーツ・新コンテンツ創出課 等

○施設

前橋文学館，市立図書館，赤城少年自然の家，国立赤城青少年交流の家，公民館，前橋東警察署，前橋中央消防署，アーツ前橋，総社歴史資料館，群馬県立自然史博物館，ぐんま昆虫の森，ぐんま天文台，tsukurun 等

○大学等

群馬大学，前橋工科大学，共愛学園前橋国際大学，群馬社会福祉専門学校，育英大学，高崎健康福祉大学，東京福祉大学，群馬医療福祉大学，市立前橋高校，勢多農林高校，群馬工業高等専門学校 等

○団体等

前橋市文化協会，前橋市民音楽連盟，群馬県少年少女合唱団連盟，前橋東ロータリークラブ，商工会議所，青年会議所，ものづくり指南塾，発明協会，前橋テクノフォーラム，県こどもエコクラブ，ぐんま緑のインタープリター協会，ぐんま山森自然楽校，赤城自然塾，県プラネタリウム連絡協議会，群馬星の会，ボーイスカウト，日本宇宙少年団前橋分団，体験の風をおこそう実行委員会 等

(順不同)

施設の概要

I 前橋市児童文化センター

1 名称及び所在地

前橋市児童文化センター TEL (027) 224-2548

FAX (027) 243-8361

前橋市西片貝町五丁目8番地

2 目的

前橋のこどもたちの科学及び文化芸術に対する理解と関心を高め、心身の健全な育成を図る。

○コンセプト

まちなかの身近な「学び」と「遊び」の活動交流拠点として、科学・文化、環境、自然体験活動等を通し、こどもたちの夢を育て可能性を広げる総合文化施設とする。

3 開館

平成24年1月（旧館開館 昭和44年10月）

4 施設の規模及び構造

○敷地面積 38,500 m²（前橋こども公園を含む）

○構造 鉄筋コンクリート地上2階建て

○規模 建築面積 1,635.28 m²

延床面積 2,783.51 m²

○館内施設

フロア	主な施設・部屋名
1階	エントランスホール、プラネタリウム、ほしのみち、みんなのホール わくわくひろば、わくわくアクア、ワークルーム1、キッズショップ
2階	どれみふぁルーム、はっけんラボ、つくる一む、スペースeco、ワークルーム2
屋上	おひさま広場、ほしの広場

○事業費 905,094,750円（本体及び外構等工事費）

II 前橋こども公園

1 名称及び所在地

前橋こども公園 前橋市西片貝町五丁目7番地・8番地

2 公園内の施設

管理ヤード、ゴーカートゾーン、交通学習ゾーン、水辺観察ゾーン、観察の森ゾーン

芝生広場ゾーン、エントランスゾーン、雑木林と文学のゾーン

駐車場（普通車240台、大型バス3台）

冒険遊びゾーン（平成26・27年度、令和3年度に新たな遊具を製作・設置）

音のステージ（平成28年度）、時の広場「日時計」とメダカロードの設置（令和元年度）

3 ゴーカート

○ガソリンゴーカート（11台）、EVゴーカート（2台）

○1周：約700m

令和6年度 事業の概要

I 運営目標

こどもたちの文化活動の中核として、科学的な原理・法則や環境保全について総合的・体験的に学ぶ活動や、文化芸術に触れたり自己表現をしたりする活動、交通安全教育、多様な体験や交流活動の機会の充実等に係る事業などを行い、多様な人とかかわりながら、個性を生かし、夢に向かって主体的・創造的に活動するこどもの育成を目指す。

II 本年度の重点施策

1 交通・天文・環境教室の充実

(1) 交通教室の充実

[目標・ねらい]

- 全小学校4・6年生及び希望する中学校・特別支援学校を対象に自転車教室を実施することにより、交通事故を防止しようとする態度や能力を育てる。
- 幼稚園・保育所(園)・特別支援学校等を対象に歩行教室を実施することにより、交通事故を防止しようとする態度や能力を育てる。

[今年度の重点]

①小学校・中学校・特別支援学校

- ・自転車に不慣れな児童の練習の場を設け、引率者が指導できるよう、乗り方の助言、職員配置等の工夫、指導方法の改善に努める。
- ・自転車に乗る経験が少ない児童のため「親子自転車乗り講習会」を開催し、操作習熟を図る。

②幼稚園・保育所(園)・特別支援学校

- ・入園、入学後の安全な登下校のため、年長児等を対象として道路の歩行を重点に実施していく。

(2) 天文教室の充実

[目標・ねらい]

- プラネタリウムの機能を活用した天文教室を実施することにより、こどもたちの宇宙や天体への理解を深め、観察への意欲を高める。
- 実際に天体を観察することも天文教室を実施することにより、こどもたちの天体に関する興味・関心を高める。

[今年度の重点]

①小学校

- ・事前打合せによる理科の授業の現状把握と、学校ごとの実態に応じた展開や理科授業者の参加を引き続き促すとともに、充実に向けたタブレットPCを含むITの効果的活用方法を含め内容の改善に努める。
- ・こども天文教室では、実際の天体観察を通して宇宙や天体への興味・関心の向上を図るとともに、学校の理科学習の振り返りにつなげられるよう努める。

②幼稚園・保育所(園)

- ・Webページでの情報提供や事前打合せ等による適切な番組選択、実態に応じた星空解説に努める。

(3) 環境教室の充実

[目標・ねらい]

- 児童文化センターの自然や施設、学校の環境を活用した主体的・対話的な環境教室を実施することにより、学校における環境教育の充実を図ることにより、環境に対する児童の関心・意欲を高める。

[今年度の重点]

- ①各学校の教育課程に対応した柔軟な事業対応
 - ・実施内容を家庭に周知し、家族と一緒に環境を考えられる教材の充実をさらに進める。
 - ・学習展開、教材などを指導担当者と話し合い、内容の充実をさらに図る。
 - ・児童文化センターの自然や施設を利用した環境教育を推進するために、「児童文化センター環境マップ」の活用方法を検討し、周知を図る。
- ②学校の環境教育充実のための外部との連携強化
 - ・教科や環境教育に「環境教室」を位置付けるよう引き続き依頼し、ニーズに応じた支援を実施する。
 - ・学校教育課と連携し、環境教育主任会への情報提供や教育内容に関わる支援に努める。
 - ・専門的知識をもつ外部の担当者等と連携し、より深い学びを実現していく。

2 自然体験活動の充実

[目標・ねらい]

- 効果的な活動例の提示や活動内容についての相談などを行うことにより、学校等の児童生徒主体の自然体験活動を支援する。
- 活動内容に合った人材の紹介や自然体験活動講師の派遣等を行うことにより、学校や林間学校における自然体験活動の推進を図る。
- 教員に対する自然体験活動の研修を実施することにより、自然体験活動の充実を図る。

[今年度の重点]

- ①学校対象
 - ・事前・事後の活動の進め方や有効活用への助言、具体的アドバイスを行うなど、積極的なコーディネートを進める。
 - ・指導の展開事例を再検討し、児童生徒がより主体的に取り組み、関心や意識を高められるようさらに内容の充実を図る。
 - ・講師や事例の紹介などで、林間学校以外の自然体験活動も推進する。
 - ・講師と連携作成した「森のパワーを探してみよう」を活用した実践事例を評価・検証し、さらに内容の充実を図る。
- ②一般市民対象
 - ・業務委託により、自然観察会やネイチャークラフト、親子トレッキング等を実施する。

3 科学・文化芸術教育活動の充実

(1) クラブ活動の充実

[目標・ねらい]

- 科学・文化芸術に関する様々なクラブ(環境冒険隊・宇宙・ジュニアオーケストラ・合唱団・演劇・発明)を実施することにより、こどもたちの個性や能力を伸ばし、人と関わる力を育てる。

[今年度の重点]

- ・豊かな体験の場、自らの成長を実感できる主体的活動の場となるよう、活動内容の精選や改善を図る。
- ・指導教員の資質向上の場として、学校教育課、総合教育プラザと連携した講師育成や一般講

師の人材開拓に努める。

- ・充実した活動を維持し継続するため、基本的な感染症対策を継続するとともに、活動場所の確保等担当者間の連携を密にする。

(2) 多様な科学・文化芸術に関する教室の充実

[目標・ねらい]

- 科学・文化芸術に関する教室(夏季教室、わくわく教室等)を実施することにより、こどもたちの興味・関心を広げ、多様な体験活動を推進する。

[今年度の重点]

- ・こどもたちの多様な体験活動の支援を行う市民活動を支援し、連携・協働・情報交流を進める。
- ・環境教育やSDG sを視野に入れた新しい教室の実施を引き続き検討する。
- ・実施状況や内容を参加者に伝えるWebページの充実や、閲覧の働きかけを継続する。

(3) プラネタリウムの番組の制作と投影

[目標・ねらい]

- 毎月更新される自主制作プラネタリウム番組の提供と、対話型の星空解説を取り入れた質の高いプラネタリウム投影を実施することにより、観覧者の天文への興味・関心を高める。
- こども天文教室やプラネタリウムコンサートなど、投影の内容や方法を工夫することにより、多くの市民が宇宙や天文現象に触れる機会を提供する。

[今年度の重点]

- ・天文現象等の情報交換、時季に応じた星座解説などの計画的な研修により、職員の能力向上を図る。
- ・番組制作に携わる市民との連携を密にして、充実した内容で分かりやすい番組を制作していく。
- ・こども天文教室でのプラネタリウムの活用や、プラネタリウムコンサートの実施方法を引き続き検討する。
- ・プラネタリウムデビューを実施し、幼児を連れた家族にも安心してプラネタリウムを観覧できる機会を提供する。
- ・4Kプロジェクター導入に伴い、番組に関連した映像や前橋の紹介映像等、4K動画の効果的な活用について検討する。
- ・団体投影の対象を広げていくための周知方法を検討する。

4 遊びの充実と多世代交流の推進

(1) 各種イベントや体験的な事業の推進

[目標・ねらい]

- 「わくわくチャレンジコーナー」「冒険遊び場」などを実施することにより、こどもたちの体験活動を充実させる。

[今年度の重点]

- ・こどもたちの主体性を育む活動となるよう、企画の見直し、指導内容の検討・確認、講師との事前打合せを十分に実施する。
- ・「わくわくチャレンジコーナー」指導に参画する大学生を募集してコーナーの継続に努め、体験活動を充実させるよう講師研修を継続実施する。
- ・ボランティア参画によるイベントや活動の再開を進め、体験活動の拡充に努める。

(2) 交通安全に関わる体験の充実・こども公園の活用

[目標・ねらい]

- ゴーカートや足踏みカートを運行することにより、こどもたちが遊びを通して交通ルールやマナーについて学ぶ機会を提供する。
- 芝生広場、交通学習ゾーン、大型遊具、冒険遊びゾーンなど、「学び」と「遊び」の場を提供し、こどもたちの健全育成を図る。

[今年度の重点]

- ・歩行や足踏みカートなどを活用して交通ルールやマナーが学べるよう、公園指導員を配置し、引き続き指導の充実を図る。
- ・ゴーカートの運転を実際に体験して交通ルールやマナーを学べる運用となるよう、安全性等を考慮しながら適宜検討を行う。
- ・冒険遊びゾーン内遊具は、職員の日常点検ほか適正な点検・補修を行い、安全な運営を継続する。

(3) 市民力の活用と多世代の交流

[目標・ねらい]

- 様々なイベントや「冒険遊び場」、館内事業において、ボランティアの会・一般ボランティア・学生ボランティアの活動の場を設定し、市民力の活用を推進する。
- ボランティアの会・一般ボランティア・学生ボランティアが交流できる場を充実させることにより、多世代交流を推進する。

[今年度の重点]

- ・ボランティアの会と情報共有や連携を図り、活動の活性化や自主的企画・運営に対して支援を行う。
- ・職場体験学習やインターンシップの充実を図るとともに、受け入れた学生等に対しボランティア活動への参加を促す。

5 施設管理

[目標・ねらい]

- 安全安心に利用できる施設の管理・運営を図るため、施設・設備全体の管理計画に基づき、適切な修繕等を実施する。
- 公園管理事務所などの関係課と連携し、安全な環境の維持管理を行う。

[今年度の重点]

- ・夏季における館内高温化を抑制し、効率的な空調管理を行うため、エントランスホールにロールスクリーンを設置する。
- ・環境教育等の有効活用のため、故障中の「ひまわり（太陽光採光システム）」の改修を実施するとともに、水車（小水力発電装置）や風車等の維持管理を適切に行う。
- ・新紙幣に対応するため、プラネタリウム及びゴーカート券売機の設備更新を適正に実施する。（10月更新予定）
- ・施設が公平かつ効果的、また安全、安心して利用できるよう、施行規則等に基づき施設利用に関する要領等の整理に着手する。

6 予算関係

[目標・ねらい]

- 予算の適正な執行管理に努める。
- 広告収入やふるさと納税等の財源確保策に継続的に取り組む。

[今年度の重点]

- ・ 予算化された事業費の適正な執行により、安定した施設運営や事業運営に努めるとともに、緊急時などにも適切な対応が行えるよう、関係課との連携を図る。
- ・ 施設の老朽化に伴う修繕や備品の購入等について、優先順位付けや内容の精査を行い、令和7年度に効果的に事業実施できるよう、予算要求に向けた準備を行う。
- ・ ふるさと納税等財源確保のため、関係課との連携のほか事業PRなどに積極的に取り組む。

Ⅲ 開館時間・料金等

1 開館時間

午前9時～午後4時30分（夏季休業中は午後5時まで）

2 休館日

毎週月曜日・毎月第2木曜日（祝日の場合は翌日）

12月29日～1月3日

3 入館料：無料

(1) プラネタリウム観覧料

一般投影：小中学生 100円

高校生以上 310円

未就学児 無料

団体投影：20人以上の団体利用者

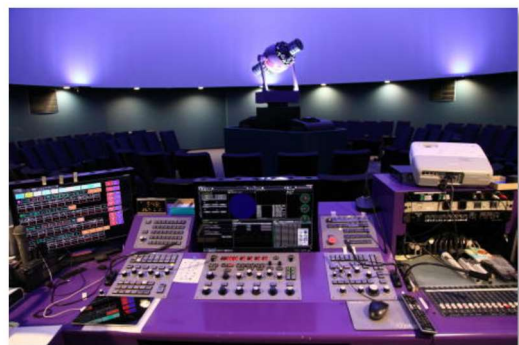
小中学生 80円

高校生以上 250円

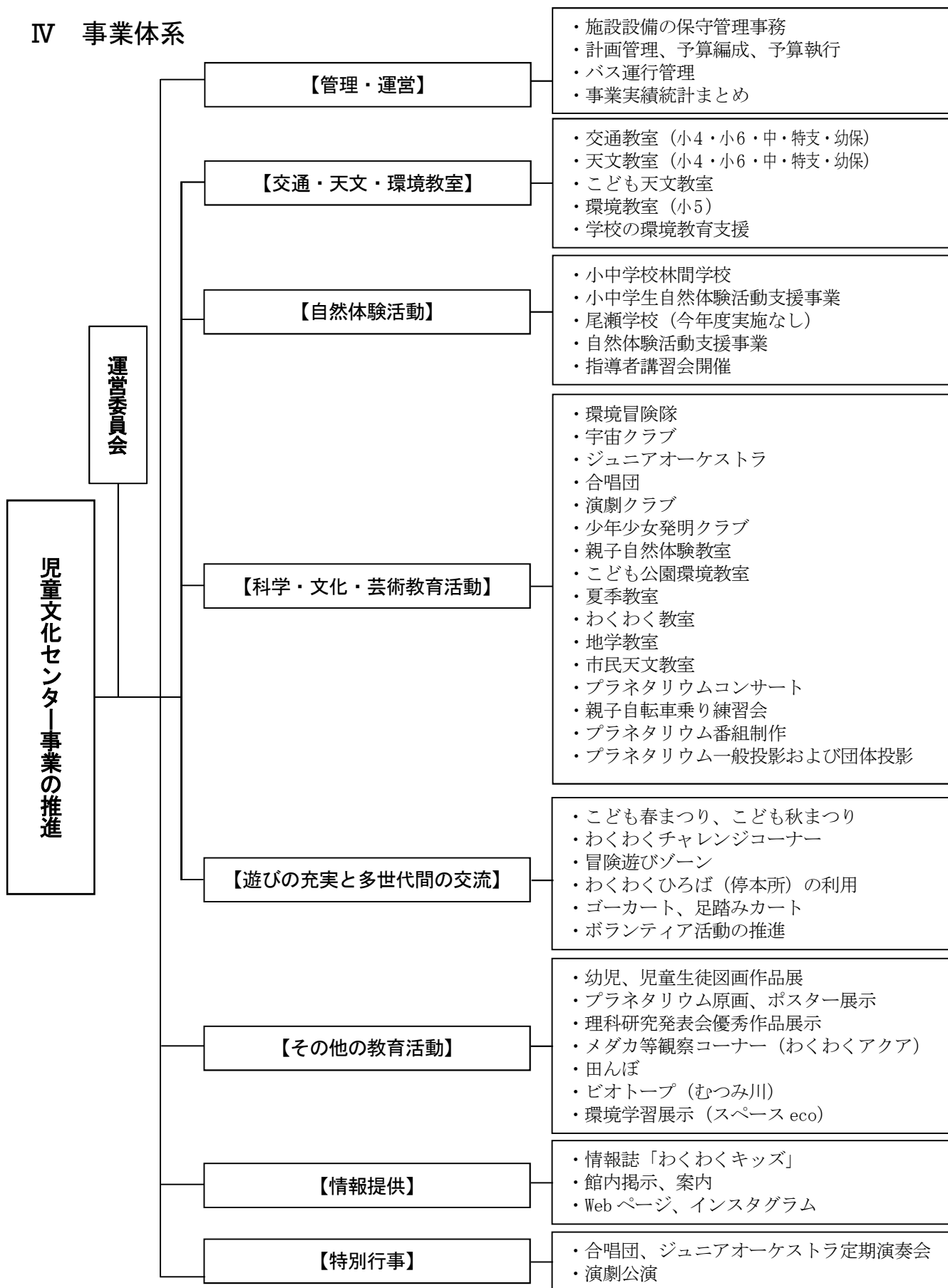
* 障害者手帳等持参（付添人1人含む） 無料

(2) ゴーカート料金

一周 100円



IV 事業体系



※事務局：前橋少年少女発明クラブ、野メダカを育てる会

